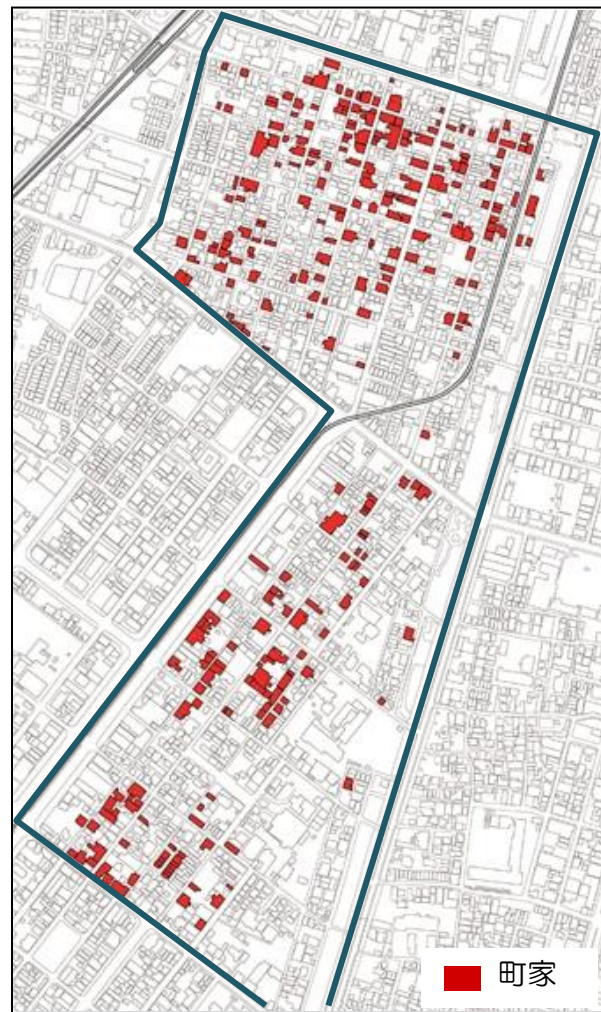


■ 背景と目的

◎背景

- 堺環濠都市地域は、江戸期に形成された短冊型の街区による「元和の町割」と、内川・土居川が当時の環濠都市の面影を残す、本市を代表する歴史・文化的景観を有する地域である。
- 刃物や線香などの伝統産業も活発に行われ、今もそれら職住一体の生活様式が残っている。
- 堺環濠都市地域の北部（右図）は、第二次世界大戦の戦火を免れ、戦前の町家が今も数多く残っており、数少ない歴史的なまちなみが残る地域となっている。
- しかし、近代化のなかで、町家は老朽化して壊され、歴史的なまちなみの面影は薄れつつある。



町家の現存状況

◎目的

- 地域に残る歴史文化資源を活かし、新たな魅力とにぎわいを創出

■ 歴史的なまちなみの整備の方向性

堺の歴史的なまちなみと伝統文化が息づくまち

歴史文化資源を後世に継承するとともに、それらと調和したまちなみの整備と促進により、地域に対する愛着と誇りを育むとともに、魅力とにぎわいあるまちづくりをめざす。

I 歴史・文化資源の継承

- 文化財のみならず、町家等の伝統的建築物についても保存を図る。

II 歴史・文化資源と調和したまちなみの形成

- 町家等と隣接する建築物等について、歴史的なまちなみと調和する外観に修景する。
- 紀州街道や寺社周辺の道路等について、歴史文化資源と調和した修景整備を図る。

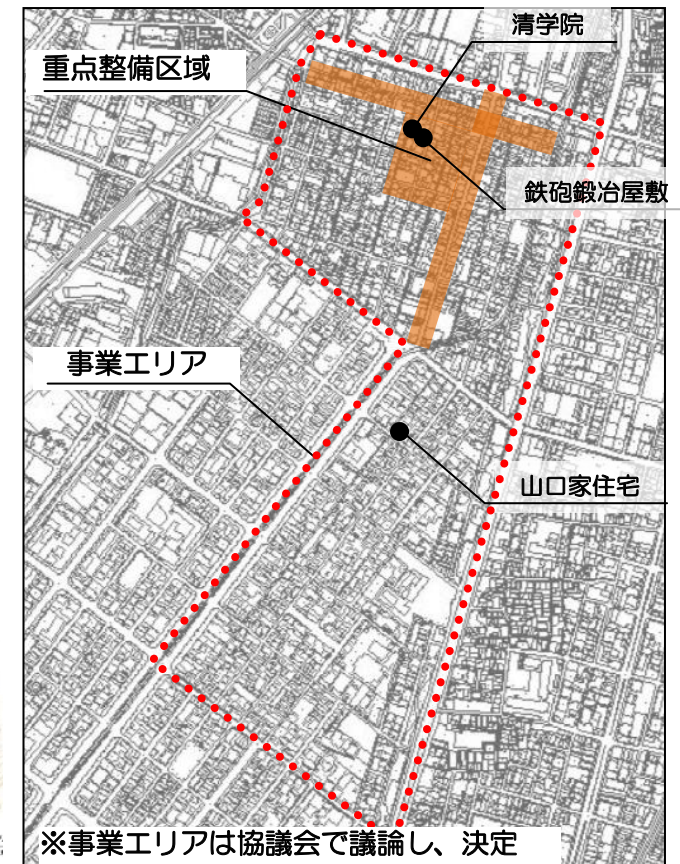
III 歴史・文化資源を活かしたにぎわいの創出

- 歴史・文化資源を活かし、地域住民によるコミュニティ活動を促進する。
- 来訪者に対するおもてなしの環境を整備し、地域の魅力とにぎわいを創出する。



イメージ

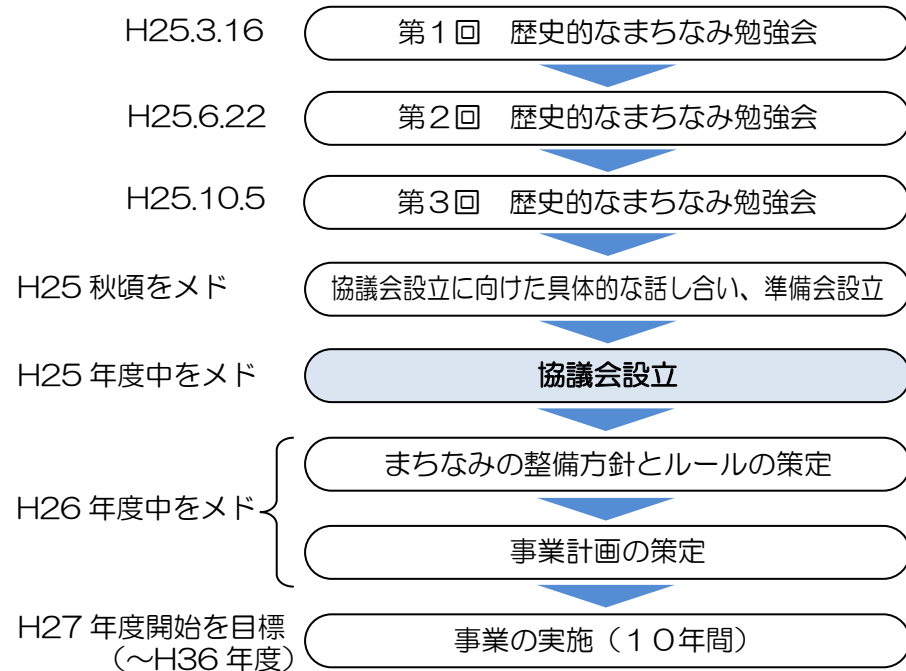
イメージ



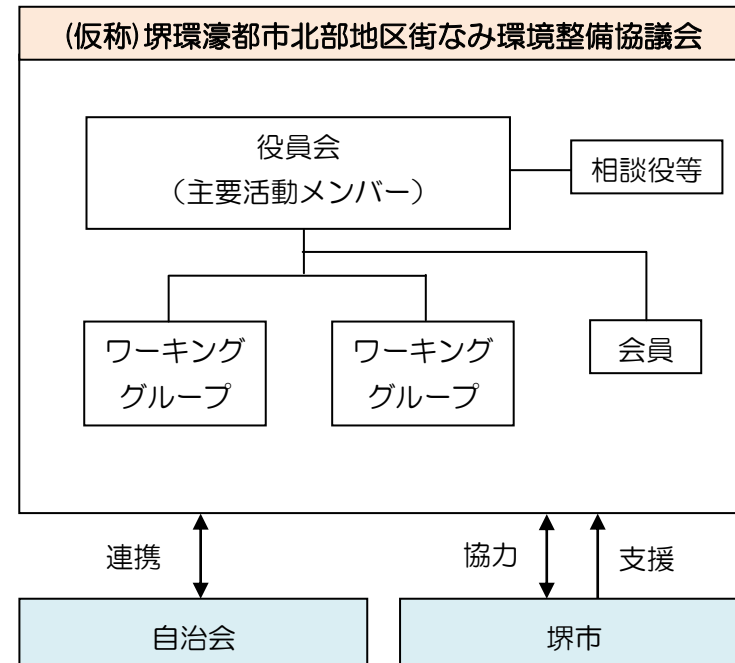
※事業エリアは協議会で議論し、決定

■ 今後の進め方と役割分担

◎スケジュール



◎協議会の組織イメージ



◎具体的な取組みと役割分担

○：実施主体、▲：支援、△：協力等

事業内容	実施主体			
	市	協議会	自治会	住民
I 歴史・文化資源の継承				
・鉄砲鍛冶屋敷の保存修理	○	△		△
・景観重要建造物の保存修理	▲	△		○
・伝統的建築物の保存修理	▲	△		○
II 歴史・文化資源と調和したまちなみの形成				
・まちなみに関するルールづくり等	▲	○	△	
・歴史的なまちなみに調和した一般建築物の修景	▲	△		○
・歴史的なまちなみに調和した看板類の修景	▲	△		○
・道路の美化	○	△	△	
III 歴史・文化資源を活かしたにぎわいの創出				
・歴史的なまちなみの案内サイン等の整備	○	△	△	
・歴史的なまちなみに関する情報発信やイベント等の実施	▲	○	△	
・町家の利活用（空き家対策、店舗誘致等）	△	○		